

すがお

新春号

No.93

2022 newyear



新年あけましておめでとうございます。
利用者の皆様、ご家族の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

一昨年から続いております、新型コロナウイルスですが、さらに変異株(オミクロン)として世界中に猛威を振るい日本でも全国に蔓延し始めている中で、今年も利用者の皆様には、外出及び面会の自粛と施設内の活動についても予防対策強化し、縮小した方法での活動をお願いしております。昨年は、利用者皆様のご協力により、施設にコロナを持ち込むことなく新たな年を迎えることが出来ました。先が見えない感染症予防対策の中、職員全員の週1回のPCR検査、毎日の検温、人混みの外出の控え、マスク着用等、健康管理に努めております。

今年は、十二支で最強のトラ年です、どんな逆境にあつても立ち向かう強さのトラのように利用者皆様には感染させない思いで、職員一同、安全で安心な生活環境を提供してまいります。

一日も早くコロナが収束し、平穏で、活気ある日常生活が迎えられることを願い、新年の挨拶とさせていただきます。

養護老人ホーム 松楓園
施設長 馬場 義郎

令和4年 新年会



変異株（オミクロン）が全国に広がる中で、今年もGW手工芸で、作成しましたトラを舞台に飾り、利用者新年会を縮小した形で開催しました。昨年の新年会で目標を掲げました、【施設にコロナを持ち込まない】は、利用者の皆様のご協力で目標を達成し、また今年も【コロナに負けないで、元気に過ごしましょう!】を目標とし、ダルマに目を入れ、継続して利用者の皆様に外出の自粛・手洗い・うがい・マスク着用をお願いしました。最後に年男・年女の利用者の方に今年の抱負を聞きまして、和やかな雰囲気の新年会となりました。



利用者 新年の思い

謹賀新年



杉山とめ子様

一年の計は元旦にあるとの思いから自身に約束事をしました。コロナに負けず健康でいること、転ばないこと、人に言われて嫌なことは言わないことを約束事に決めて、趣味を持ってこれからも楽しい生活を送りたいと思います。おかげさまで今年のお正月はみなと和気あいあいと笑って過ごすことができました。今年も楽しい一年になりますように。

宍戸巖様

長い間松楓園で生活をさせていただき、感謝の思いで一杯です。世の中はコロナやミサイル問題など、色々難しいことがたくさんありますが、世の中が平和であることを願っています。



コロナ禍で、感染予防の強化を図りながら、クリスマスの雰囲気味わえるように各階・食堂・ホールに利用者の皆様と手掛けた作品を飾り、今年最後の行事「クリスマス会」を開催しました。催し物は控え、クリスマス食を楽しみながら、サンタさんとトナカイさんよりプレゼントを受け取り、短い時間でしたが和やかな時間を過ごすことができました。

春の気配



春はまだまだ遠いと感じる日々ですが、園庭には寒さに負けず花が咲き、梅の木々もつぼみを膨らませ、春の気配を伝えてくれています。



今年もコロナの影響で「福は内・鬼は外」と利用者が大きな声で豆まきをすることは残念ながら出来そうにありませんが、施設内には手作りの節分飾りが春の訪れを知らせてくれています。



介護技術研修



本来、養護老人ホームでは自主・自立の方々に在宅復帰を支援することが役割とされ、職員は見守り支援が主な業務とされています。この事から現場職員数は特別養護老人ホームの1/5に定められています。しかし、実情では介護を必要とする入所者が増加する傾向が顕著であり、少ない職員数で対応できるように介護技術の習得に努めています。



歯周病の意外な事実！



歯周病は3人に2人が罹っていることを知っていますか？ 歯周病は歯を失う原因の37.1%はこの歯周病であるとされています。（日本歯周病学会）

この病気の問題点は歯を失うリスクが高くなるだけでは無い事をご存知でしょうか？ 心筋梗塞や脳梗塞など様々ありますが、中でも一番関係が深いのは糖尿病であることが明らかになっています。

歯周病は口の中の細菌感染の一種で内毒素（LSP）を放出してインスリンの効きを悪くし、高血糖状態を引き起こします。その状態が続くと細菌感染し易くなり再度歯周病菌の感染が増え、更なる血統悪化を招くという悪循環に陥ることとなります。血統の悪い状態が続けば最悪、糖尿病を患う事に繋がります。

歯周病や虫歯は生活習慣病の原因となり、たかが歯周病とは思わず、まずは歯科検診から始めましょう。

中森管理栄養士

発行者 社会福祉法人 松楓会
養護老人ホーム 松楓園
住所 東京都あきる野市
菅生1159番地
電話 042-558-7010(代)
<http://www.shohuen.jp>

《編集後記》
新しい年を迎え、寒さ厳しい中でも、園庭の花々はつぼみがほころぶ季節となり、春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。
利用者ご家族にもご協力をいただき、コロナの発症者もなく平穏な新年を迎えることができました。
今年も広報誌すがおが皆様との情報の懸け橋となれるように紙面の充実を図っていききたいと思います。
広報誌編集委員会